

尾花沢小学校完全給食スタート



おばなざわ 市議会だより 97号

平成30年5月1日発行

3月定例会	
予算の審議	2
予算特別委員会(総括質疑)	4
平成29年度補正予算	6
分科会委員長報告	7
一般質問	8
広域組合議会報告	17
議会日誌	18
私のひとこと	20

私のひとりごと



尾花沢市商工会青年部
渡会 順一さん

みなさん、こんにちは。尾花沢市商工会青年部部長の渡会順一です。青年部って何の団体？とお思いの方もいらっしゃると思いますので、この機会に商工会青年部の活動内容を紹介します。よろしくお願いいたします。私たちが商工会青年部は現在26歳から43歳までの総勢22名で活動を行っています。主な活動内容は尾花沢市四大まつりの協力や、各事業所の後継者として経営資質の向上や人的ネットワークの拡大、そして地域振興に取り組む団体として、真剣に知恵を出し合い意見を交わしながら団結し、一年を通じて活動を行っています。



さて、その中に一つに尾花沢雪まつりがありますが、みなさん今年の雪まつり&ウィンタージャムにはご来場いただけたいでしょうか？昨年まで別々に開催されていたイベントですが、今年は市役所の若手職員を中心としたウィンタージャム実行委員会との共同開催が実現し「冬の尾花沢を遊び尽くせ!!」をテーマに場所も徳良湖に

移して行われました。おかげで規模も大きくなりゲストライブ・グルメコーナー・雪上人間ボウリング・スノーモービル体験・雪山すべり台・花火の打ち上げ等々さまざまイベントがあり、両日とも市内外を問わず沢山の方々に来場していただき、大盛況のうちに終える事が出来ました。初の共同開催という事で多少の不安もあったのですが、来場者数も昨年より増え、子供達の沢山の笑顔を見れた事が本当に良かったと思っています。しかし、第一回目という事もあり多くの反省点や課題があったのも事実です。全体から見れば私たちが協力できたのはほんの一部だけですが、このようなイベントに参加させていただいたことに心より感謝し、私たちの役割の中で、反省点と課題をしっかりと見つめ直し、クリアしていけば、来年はより良いイベント



なるのではないかと思っています。「何事も全力で楽しむ」が Mottoの私たちです。是非青年部に興味のある方は商工会までお気軽にお問い合わせください。!

いろいろな意味で「元気な青年部」と言われますが、尾花沢に今必要な「元氣」を私たちが発信できるように今後も商工会青年部として地域活性化の歯車となり、尾花沢を少しでも盛り上げていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します！

人のういき

議員辞職

本年4月10日付で、菅根光雄氏は一身上の都合により議員を辞職されました。当選6回の永きにわたる議会活動、ご苦労さまでした。

議会事務局人事

議会事務局の職員が4月1日より次のように変わりました。

- ◎ 転出
 - 市民税務課 伊藤 智美
 - 収納係主事へ 佐藤 聡美
- ◎ 転入
 - こども教育課 伊藤 智美
 - 教育指導室 佐藤 聡美
 - 学事指導係から 佐藤 聡美

あとながき

今年の冬は大変な豪雪と厳しい寒さとなるなど、融雪の遅れや天候不順が心配です。また、今年からは減反政策が廃止され、生産の目安によってコメ余りと価格の下落へ対応しようとしています。農業を基幹産業とする本市への影響がどうなるのか、しっかりと見据えて対応していかなければなりません。(青野 隆一)

- 発行責任者 須貝 孝
- 議長 須貝 孝
- 市議会だより編集委員
 - 委員長 小関 英子
 - 副委員長 鈴木 裕雅
 - 委員 鈴木 裕雅
 - 委員 青野 隆一
 - 委員 塩原未知子
 - 委員 笹原 和子
 - 委員 伊藤 浩
 - 委員 鈴木 清

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

新年度 一般会計予算 123 億円を可決

特別会計予算 48億3827 万円

新庁舎建設関係の事業

- ◎新庁舎本体建設事業 15億35,000千円
- ◎庁舎ネットワーク構築事業 64,987千円
新庁舎におけるネットワークの構築
- ◎防災機器移設工事 27,738千円
新庁舎建設に係る移設工事 他



新庁舎 平成30年11月末 完成予定

3月定例会は3月2日から20日まで19日間の会期で開催され、平成30年度の一般会計予算を始め、37議案が審議されました。
一般会計予算・特別会計予算については、一般質問や総括質疑で活発な審議を行うとともに、予算特別委員会を設置し、慎重な審査を行いました。
その結果、いずれも原案どおり可決されました。主な事業を紹介します。

子どもたちが元気に育つまち

- ◎子育て支援医療費助成事業 56,754千円
0歳から高校生までの医療費を無料化
- ◎放課後児童クラブ支援事業 32,279千円
玉野放課後児童クラブを新設、市内計7カ所の放課後児童クラブとなります
- ◎子育て支援学校給食支援事業 20,064千円
市内小中学校の学校給食費の半額助成 他

みんなが元気に暮らせるまち

- ◎ふるさと暮らし応援事業 43,023 千円
本市への定住・移住を支援する
- ◎尾花沢市元気な農業支援事業 12,300 千円
市独自の農業に関する総合的な支援
- ◎多面的機能支払い交付金事業 2億33,498 千円
市内39組織の活動を支援する 他

災害に強いまち

- ◎市道補修工事 54,200千円
市道の舗装・補修工事、付帯設備の補修
- ◎Jアラート自動起動等整備事業 2,268千円
新型受信機を導入し、処理能力を向上させる
- ◎防災行政無線設置事業 10,000千円
防災行政無線のスピーカーを増設 他

子ども・子育て支援事業二一三調査業務委託料

Q 尾花沢小学校、保育園の改築などの課題がある。担当課は農地転用は無理と断っている。市内では農地以外広い用地はない。新庁舎を中心として、都市計画を見直すべきではないか。(加藤克彦)

A 農地転用の考えは厳しくなっている。公共的施設で総合的な計画であれば可能である。今後関係課と調整していきたい。

食農連携コーディネーター委託料

Q 中心商店街の活性化のために、駐車場・広場・中核になる建物などが必要である。菓子店のアイデアで、スィカまんじゅうを開発中。特産品開発で商店街活性化をしようか。(星川睦子)

延沢銀山遺跡整備事業

Q 銀坑道整備、河鹿橋の補強補修、白銀公園の管理費はどうなっているか。(武田佳久)

A 銀坑道は遺跡であるため文化財補助事業で対応している。河鹿橋は遺跡ではないが景観上残してほしいと地元の声があり、国の橋梁長寿命化事業で対応している。白銀公園の日常的な管理は管理者の銀山温泉組合が行なっている。

放課後児童クラブ支援事業

Q 尾花沢小学校の学童保育は4年生が入れないと聞いている。安全安心の学童保育をどう行っていくか。(奥山格)

A 3部屋を確保したが、希望者が多いため、3年生までとせざるを得ない。

A スィカまんじゅうは好評であった。大量生産のために県農業総合センターと協議して商品化に向けて取り組みたい。駐車場は、空き地の活用が出来ないか研究したい。

子育て応援学校給食支援事業

Q 市町村で県内5番目の助成であるが、子育てで日本一を目指す尾花沢を魅力的にPRしてどうか。(鈴木清)

A 子育て応援の施策を取りまとめて移住定



宮沢小の給食

住を呼びかけるサイトや情報誌に掲載するなど関係部署と調整していきたい。

新規学卒者採用予定企業PR事業

Q 新規学卒者に対してどのような説明を行うのか。保護者に対してPRも必要ではないか。(小関英子)

A 29年度4月にガイドブックを配布。市内企業への就職を促進するために、来年度卒業される子どもがいる世帯に対し、来年度採用

を予定している企業の紹介をしており、親子で話をするきっかけになればと思う。30年度は24社を掲載予定で14人を対象者として準備している。

地域おこし協力隊報酬

Q 15億人の動画を見ているユーザーにキーワードを使い必要な情報を届けられる仕組みがある。協力隊のITスキルを活用すべきだがどうか?(大類好彦)

A 協力隊が、広報等とは違う角度から隊員が感じたことを、フェイスブックやユーチューブ等で現在も情報発信しているが、フォロワー数が伸びていないのが現状。インスタグラムを使い、雪まつり、ウィンタージャムのフォトコンテストを行った。

チャレンジイングリッシュプラン

Q 中学生の英語の学力はどうなっているか。英語検定にチャレンジさせたいという願いはわかるが、全額補助では受けない生徒との公平さを欠くのではないか。授業についていけない生徒をどうサポートするかが、大事ではないか。(菅根光雄)

A 各地域の教育を語る会での保護者からの要望は、英語の学力をつけて欲しいが多かった。チャレンジしていく子どもたちを育てていきたい。

尾花沢産牛振興協議会負担金

Q 目的は、雪降り和牛尾花沢のブランドの確立。畜産クラスター事業などを踏まえて強いリーダーシップ・バックアップのもと、GI取得に取り組むべきで



林隊員のパソコン教室

青少年健全育成市民会議補助金

Q 東日本大震災で愛莉ちゃんが津波に巻き込まれた。発見場所に咲いた花を全国に咲かせようという「アイリブルプロジェクト」が展開されている。講演や映画上映を各地で取り組まれているが、本市の小中学生を対象に取り組んでどうか。(青野隆一)

A 3・11は風化させてはいけないと思う。プロジェクトを来年度前向きに検討したい。

尾花沢産牛の店舗数

A 尾花沢産牛の店舗数が57ヶ所に増加し、知名度アップにつながっている。PRを広く行い、GI取得を進めていきたい。

家庭保育応援給付金事業

Q 2歳児までを、家庭で保育されている方に7千円、3世代同居に5千円を加えて支給されている。2歳の誕生日を迎えると支給は打ち切りとなるが、年度末の3月までの支給を検討すべきと考えるがどうか。(笹原和子)

A 現在2歳未満までとなっているが、今後検討していく。

議長 須貝 孝
予算特別委員長 伊藤 浩
2名は、役職の立場上質疑できません。



銀山温泉レトロバス

路線バス運行事業費

Q 銀山バスは、利用者が非常に多い。乗り切れないほどの人数が待っている場合もある。この場合、2台出すよのだが、どれくらい

住宅リフォーム支援事業補助金

Q 好評な補助金であるが、雪害による利用は可能か。(鈴木裕雅)

A 29年度2月末現在で202件の申請がある。リフォームの内容は多種多様。雪害の場合、保険の適用も考えられるが、部分的に補修する場合など対象になると思われるので担当課へ相談して欲しい。

一般会計の歳入・歳出の予算の総額からそれぞれ1千837万3千円を減額し、130億2千593万7千円となりました。

平成29年度 補正予算

尾花沢市一般会計補正予算主なもの（歳出）

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
簡易水道特別会計繰出金	15,147	給料、職員手当、共済費	▲ 18,000
鶴沢ため池改修事業負担金	6,270	定住促進対策事業費補助金	▲ 16,500
街路灯設置工事請負費	4,000	保育業務委託料	▲ 30,000
道路補修工事請負費	30,000	機構集積協力金	▲ 11,010
上下水道物件等移転補償金	25,000	市営住宅工事請負費	▲ 14,837
福原公民館屋根改修工事	3,400	居住空間無雪化支援事業費補助金	▲ 7,000
常盤地区公民館消雪パイプ撤去工事	4,440		

・金額は当初予算に対する増減です。

平成29年度 特別交付税決定

8億1千640万3千円

平成29年度地方交付税のうち特別交付税額が、3月20日に国から8億1千640万3千円の決定通知を受けました。また3月23日には国土交通省より臨時道路除雪事業費補助として9千200万円が交付されました。

今年1月11日には8年連続で豪雪対策本部が設置され、市民生活の安全確保のために万全な対策をとってきました。

市議会としても、2月下旬に県選出国会議員や関係省庁を訪ねて、除排雪や子育て支援などの財源確保のために、強く要望活動を行って来ました。

1月臨時議会

平成30年1月臨時会が1月25日に開催されました。市営路線バスの運行体制整備76万円、尾花沢小学校の補食給食解消と鶴子小学校の給食提供を親子方式へ変更するための消耗品費365万円・備品購入費247万円、高齢者世帯等除雪サービス事業委託料450万円、中小企業者等除雪経費助成金600万円、除排雪業務委託料と除排雪機械等借上料2億円など一般会計補正予算を原案の通り可決した。



第一分科会 総務文教常任委員会

予算特別委員会 分科会委員長報告

第二分科会 産業厚生常任委員会

ふるさと尾花沢応援寄附金
歳入予算額の確保に向けた積極的な取り組みを要望した。

市民の方に大変好評であり、継続されるよう要望した。

安全安心のみならず、全国各地で予測されている大規模災害時にも広く活用されるよう要望した。

新庁舎建設事業

旧庁舎での備品を処分する際は、市民や各種団体などにも広く周知されるよう、また、庁舎の移転作業の際は、市民サービスに支障がないように要望した。

路線バス運行費

時刻表は、高齢者にも分かりやすい表記を心がけるよう要望した。

戸籍住民基本台帳費

結婚届や出生届の際のくす玉による祝福が、



建設中の新庁舎(4月10日)

常備消防費

緊急消防援助隊登録ポンプ自動車の更新購入については、住民の

教育振興費

英語検定料全額助成及びイングリッシュ・キャンプ業務委託料について3名のALTや、多くの外国人観光客が訪れる銀山温泉等も活用しながら、子どもたちの英語への興味を引き出すような指導がされるよう要望した。

子育て支援対策費

家庭保育応援給付金については、子育て世代が一層育児をしやすくなる制度を目指し、中央診療所への病児保育施設併設を含めて、検討されるよう要望した。

雪対策・新エネルギー推進費
太陽光や地中熱、木質バイオマスなど、時に即した再生可能エネルギーの導入を推進するよう要望した。

予防接種等業務委託料
インフルエンザワクチンが確保困難であったことから、市民の健康を守るため、ワクチンの確保に努めるよう要望した。

有害鳥獣被害軽減モデル事業費補助金
有害鳥獣による農作物被害の軽減を促進するため、より有効な対策と情報提供を行うよう要望した。



(作：古瀬詩織)

道路維持業務委託料
大変な大雪のため、例年以上に路面の傷みが懸念され、早急な補修について要望した。

市経営所得安定対策等推進事業費補助金
過剰供給による米価下落が心配されることから、十分な対策と情報提供を行うよう要望した。

以上のことを踏まえ、付託された予算議案について採決した結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと、意見の一致をみた。

元気な農業支援事業費補助金
新たに取り組むGAP取得支援事業を積極的に推進し、ブランド化を図るよう要望した。

保育園・小・中学校の整備を急げ！

市長…より良い教育環境の整備を進めたい



青野 隆一 議員

無料化だけで、本当に子供の心が育つのか。



議員のつぶやき…

財政の硬直化が心配

問 財政の硬直化を示す経常収支比率が93.7%と高い数字となつているがどう考えるか。

答 過去10年の平均値は93.5%と、おおよそ例年どおりと考えている。

問 市税や地方交付税が年々減るなか、ようやく蓄えた10億円の財政調整基金(貯金)を4億円も取り崩す予算編成でいいのか。

答 財政調整基金を積み立てるだけでなく、取り崩し、積み増しを行いながら基金の運用を図り、適正な規模の基金残額を確保していきたい。

子育て日本一への挑戦を掲げ、これまでの保育料多子軽減策などに加え、新年度は小学校給食費の半額助成や医療費の無料化を高校生まで拡大する。給付金や無料化政策では、ますます財政の硬直化を招くのではないか。

答 限られた財源を効率的に活用するため、事業評価を行い、費用対効果の少ない事業については見直し、廃止も検証していきたい。

病児保育の実現を

問 6年生まで預けられない放課後児童クラブの充実や病児保育の実現など安心して子育てができる環境づくりが必要ではないか。

答 放課後児童クラブについては、玉野放課後児童クラブの施設整備を行っており、市内5地区全てに設置されることになる。病児病後児保育については、保育室等専用スペースの確保などの課題があり、引き続き調査研究をしていきたい。

放課後児童クラブの見通しは

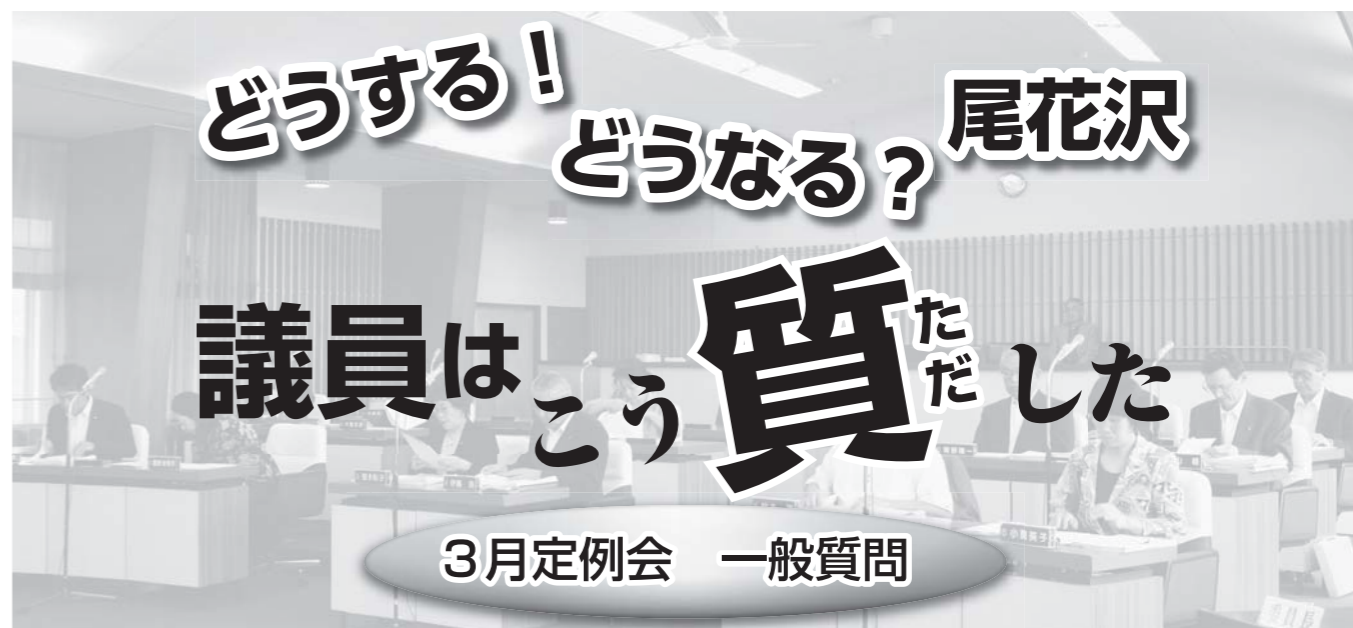
問 尾花沢小学校内の児童クラブの見通しはどうか。

答 定員120名に対し、140名の申し込みがあり、3年生までは受け入れるが4年生は尾花沢スポーツクラブにお願いをした。

保・小・中の一体的な整備を

問 老朽化し活断層上にあるおもだか保育園、尾花沢小学校、尾花沢中学校の一体的な整備を行うべきではないか。その際の整備費はどのくらいか。

答 保育園は、国庫・県費の補助がない。小・中学校については、屋外運動場やプール施設も含めほぼすべてが起債対象となっており、3分の1の国庫支出金と過疎債の活用が想定される。



どうする！ どうなる？ 尾花沢

議員はこう質^ただ^たした

3月定例会 一般質問

◇掲載項目 ・その他の質問項目

青野 隆一	◇平成30年度予算(案)について ◇子育て日本一の政策について ・定住政策について
伊藤 浩	◇豪雪対策について ◇来年度の米政策について ・来年度の予算編成について
笹原 和子	◇移住・定住・空き家対策について ◇すいかエキスについて ◇こども達と市長の「夢講話」について
加藤 克彦	◇本市独自の奨学金制度の創設について ◇山形県版GAPについて ◇徳良湖周辺整備マスタープランについて
塩原 未知子	◇豪雪の尾花沢らしい克雪・利雪・親雪対策について ◇徳良湖周辺整備マスタープランについて ・人口減少の中の定住対策について ・子育て日本一のまちづくりについて ◇若者が活躍できるまちに
星川 睦子	◇本市の福祉について ・猟友会の組織強化を図るべき ◇空き家対策の拡大を図るべき ・広場整備について ◇ふるさと振興公社について
鈴木 清	◇自治体独自の国保料(税)軽減の努力をすべきではないか ・雪と暮らす強く優しいまちづくりを ◇就学援助の入学準備金を入学前支給に ・「重いランドセル・通学カバン」の問題について
菅根 光雄	◇新年度予算について ◇施策の提示に伴う進捗状況と責任について ◇空き家の活用と対策について ◇国会議員に対する要望活動について

※一般質問は、議員1人あたり最大1時間の持ち時間で行われています。

市のホームページから **市議会インターネット中継・録画も見て下さい!**
www.city.obanazawa.yamagata.jp

危険家屋、空き家対策！ どう考えるか

市長…指導・勧告・命令など、より強い措置を講じる



菅原 和子 議員

問 人口減少に伴い空き家が目立つ。今年の豪雪で、かなりの被害が出ると心配される。現在、危険家屋とされる空き家軒数は何軒か。

答 また危険家屋の危機管理対策はどうなっているのか。

問 市内の空き家の軒数は、全体で20軒、手を加えて住める家は130軒、危険と判断される家は27軒となっている。

答 今回、国では空き家の除却に対する支援措置として、「空き家再生推進事業」と「空き家対策総合支援事業」が創設された。どちらも市の負担と所有者負担が伴うので、尾花沢市空き家対策協議会の中で、空き家の除却に対する助成事業を検討

問 豪雪地域だからこそ、国の支援だけでなく、本市独自の危険を回避出来る対応と経済的な支援などが必要ではないか。

答 倒壊の危険がある家会に提案し、指導、勧告、命令の措置を講じる。また、空き家の除却費用については、県市長会を通じて国に対して強く要望している。

問 市長夢講話 未来の尾花沢を担う子ども達と市長との「夢講話」は今年度行うのか。

答 本市の未来について、市内中学校の生徒達



すいかエキス使用の化粧品

問 すいかエキス 昨年完成した「すいかエキス」の、その後の状況と見通しはどうか。

答 すいかエキスは約10社から採用され、さらに大手化粧品メーカーから発売された。また平成30年度産すいかエキスも今年度以上に受注を受け、大変期待出来ると考えている。

国に要望しても何時の事やら…(…)市独自でやればいいのになあ！



議員のつぶやき…

豪雪による農作業の遅れを支援せよ

市長…融雪状況を見ながら支援を検討する



伊藤 浩 議員

問 5年ぶりの大雪となり、今後の農作業の遅れが心配される。破損したハウスへの支援と農作業の遅れを回避するための融雪剤や除雪費の支援を行うべきである。

答 現在ハウスなどの被害調査を進めている。農作業の遅れ対策として、融雪対策支援事業により、融雪剤の支援を決定している。その他の支援も融雪状況を見ながら検討していく。

問 降雪情報の発信内容に累計降雪深を加え、リアルな情報が伝えられるように改善すべきと考えるがどうか。



除雪作業

答 市のホームページで発信している情報は多くの閲覧がある。離れて暮らす家族の方には防災情報として活用されているので累計降雪深も掲載した内容に改善したい。

問 米政策 来年度の作付け配分面積はどうなるのか。また、生産の目安を達成するための施策をどう考えているのか。

答 作付け配分面積は今年度と同様で基本配分は54・5%となる。市独自の加算配分も行う。生産の目安を達成するために、米価の安定を図るための生産調整の必要性を丁寧に説明していく。



イノシシによる被害

問 鳥獣被害のアンケート結果は。また、鳥獣被害対策を地域全体で取り組む必要があると考えるが、モデル地区を設定してはどうするか。

答 全区长さんを対象に初めてアンケート調査を行ったが、回収率は2割程度であった。調査方法の見直しなどで被害状況の把握に努めていきたい。

答 地域ぐるみによる鳥獣対策は地域住民による維持管理体制が必要になる。鳥獣被害防止総合交付金を活用した有利な補助制度について積極的に周知を図っていききたい。

市長選への不出馬は残念・無念に尽きます



議員のつぶやき…

克雪・利雪・親雪対策に本気で挑め！

市長…豪雪地の本市にあった方法を検討したい



塩原未知子 議員

雪捨て場提供に税の軽減

問 今年は大変な豪雪地だったが、どんなに豪雪でも春になれば自然に消える。雪置き場を提供している空き地で、排雪を行わ

答 当面は既存事業である居住空間無雪化プロジェクトを活用し、融雪技術のコストダウンの研究を、プロジェクト構成員の専門家と進めたい。

企業や大学の研究室誘致

問 民間事業者や大学と連携した雪対策にもつと力を入れ、少しでも多額の除雪費用の削減を、豪雪の尾花沢市から先頭を切

答 各市区区長さん方の協力で市内全域1千100力所の雪捨て場がある。公益性のある土地の使い途には減免方法があるので、排雪場所の土地の固定資産税の減免は今後検討していきたい。

若者が活躍できるまちに

問 「子育て日本一おばなざわ」の政策は、人口を増加させるためにもまず転出が多い20代30代の子育て前の世代の支援こそ

問 湖は産業と農業のシンボルである場所、100年先も水辺の美しい徳良湖を継承するために、これからは持続可能な維持管理のコストを意識すべき。それには交流人口のターゲットを明確にして、若者が働く場の確保をすべき。市民が湖畔近郊に定住できるプランこそ大事ではないか。

徳良湖マスタープラン

答 ここ10年間の転出者数は5千101名、転入者は2千963名、転出超過になっている。今後、新規就農者や創業者を商工会や関係機関と連携しながら支援していく。

答

「豊かな自然を守り次の世代へつなぐ安らぎの環境づくり」を基本構想とし、湖全体をひとつの親水公園としていきたい。花笠グラウンド脇のトイレのリニューアルとレストラン徳良湖の排水を合併浄化槽で共同処理する計画で、今ある景観と四季折々の自然を後世に残す100年先を見据えた整備を進めていく。



冬の徳良湖に集う野鳥たち

おばねの豪雪は桁違い、苦を宝に変える政策で日本一の春を毎年迎えたい！



議員のつぶやき…

給付制奨学金制度の創設を

市長…他市町の動向と利用状況を見て検討したい



加藤 克彦 議員

問 医療系大学、看護学校や一般大学を対象に給付制奨学金の創設を考

答 現在、おもだか奨学金制度があり高校生までが対象で、数人の方が利用している。向学心を持ちながら、経済的理由で就学が困難な方が奨学金を利用している。大学までの奨学金制度ではないため、給付型や貸与型奨学金制度を含めて、本市の医師不足や看護師の就労などが見込める効果がある。今後、給付型奨学金制度の創設を前向きに検討したい。

県版GAP取得を

問 山形県版GAP（農業生産工程管理）の

答 取得に向けた本市の対応は、本年4月から山形県版GAPがスタートする。2020東京オリンピック、パラリンピックの食材提供にもGAP取得が義務付けされている。県版GAPの取得に向けた研修会などを開催している。現在、チェックシートの活用を推進しており、普及活動に力を入れている。本市農業には欠かせない案件なので、啓蒙活動や研修会などで県版GAPの取得に予算計上を進めていきたい。尾花沢農産物の輸出に向けても尾花沢すいかのGI（地理的表示保護制度）取得や、地域商標の取得に向けても今後検討していきたい。

徳良湖周辺整備マスタープラン

問 徳良湖周辺整備の今後の進め方はどうか。

答 徳良湖周辺整備マスタープランを本年3月中に改定し、早期、中期、長期と事業を進めていく。多目的トイレは30年度に整備を図り、駐車場の拡張などを早期に整備を進め観光客の誘致を図る。レストラン徳良湖は、誰でも利用できるような施設として整備を図っていく。グラウンドゴルフ場の拡張も市民の要望がある。民間の土地の取得も含め、中期に整備を図っていく。パークゴルフ場は用具購入を図り、競技の普及活動に重点を置き整備していく。



徳良湖ヨット東北大会

東京オリンピックにおばねの食材を提供したいなあー。



議員のつぶやき…

独自の国保税軽減の努力をすべきである

市長…県の運営方針に沿って対応したい



鈴木 清 議員

県への納付金額決定

問 国保事業の県との共同運営化により、確定係数が示され、本市1人当たりの国保税額は11万6217円となった。他市と比較しても上位にあるが、これをどのように認識しているのか。

答 市の国保税は県への納付金となり、各市町村の被保険者数・所得水準・医療費水準により算定額が決定する。本市の被保険者は労働者世帯が多く、所得水準・医療費水準が比較的高いため、1人当たりの金額が県内で上位にある。今後も県の運営方針に沿って対応したい。

基金で負担軽減を

問 保険者が高齢化し所得が減少するなか、国庫支出割合も50%から20%に激減したため、負担が重く生活を圧迫している。一般会計からの法定外繰り入れや基金からの繰り入れなど、本市独自で負担を軽減すべきではないか。

答 本市の中期財政計画に基づき、制度改正に備え、繰り入れにより1億1千万円程の基金を保有しているが、本市国保事業の持続的な運営のために活用したい。4月からの県国保運営方針に従い、算定方式を資産割分を無くし、3方式から4方式に変え税負担の軽減を図っている。平成35年度までの6年間を県下統一した方針に基き、安

子どもの均等軽減を

問 サラリーマンなどが加入する被用者保険は子どもが増えても保険料は変わらないが、市町村国保は世帯内の加入者数に応じて賦課される均等割りがあるため、子育て支援に逆行する。

答 埼玉県ふじみ野市では、第3子から全額免除、子ども均等割軽減を東京都議会では意見書採択、全国知事会では緊急要請している。本市でも子どもの均等軽減をすべきではないのか。

入学準備金を入学前支給に

問 誰でも楽しく通学できるよう経済的に困難な世帯のために、就学援助制度があり、「入学準備金」がある。全国の5割の自治体が3月までの入学前支給を予定しているが本市ではどうか。

答 文科省より検討依頼があり、本市では平成31年度支給について準備を進めたい。

傍聴の方に感想をおききし、課題が見えてきました。



議員のつぶやき…

どうする？福祉施設の深刻な人手不足

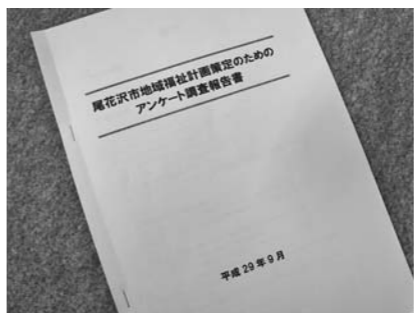
市長…人材確保は国・県と連携したい



星川 睦子 議員

わかりにくい福祉政策

問 昨年「福祉計画策定のためのアンケート調査」が行われたが、その結果どんなことがわかったか。



アンケート調査報告書

答 福祉の充実のために市民も行政も協力したい、共に取り組むべきとの意見が半数近くある。自助・共助・公助の役割と

もに、重層的な福祉ネットワークによる支援が求められている事がわかった。第2期地域福祉計画では、地域ぐるみの福祉活動を支援し、わかりやすい福祉サービスへの周知を徹底していく。

問 近い将来、福祉施設に空きはあっても職員不足で入所出来ないことが予想されるが、どのような対策をとるか。

答 必要な介護人材の確保は、国や県と連携する。専門職の確保には、長期的な目線で事業所を支援していきたい。

増える空き家

問 移住・定住による人口増加と結びつけて

一挙両得を狙っても解決しない。来年度の特徴的な対策はあるのか。また住宅に補助するだけでなく、地域活動拠点として使うなど、多方面の活用を考えるべきではないのか。

答 平成30年度から、空き家を賃借する場合の改修にも助成を拡大する。空き家バンクへの登録と利活用が促進されるよう、「空き家活用支援事業」の周知拡大を図る。また空き店舗を利活用し、市民の憩いの場を作ろうと模索している。

修繕費が増大する花笠高原荘

問 花笠高原荘御所の湯の閉鎖に賛同するが、ほかの施設についても根本的



花笠高原荘

答 各施設でも老朽化が進み、修繕などを実施しながら運営している。指定管理者の選定は、平成30年度で指定期間が終了するため、次期選定も一般公募したい。

福祉で困ったら、まず市役所の福祉課さいくべ！



議員のつぶやき…

広域組合議会の報告

北村山広域行政事務組合議会は3月27日、定例会を開き、平成30年度一般会計予算9535万円となり平成29年度当初予算比4・51%の減。また、事務組合を構成する各市町の負担総額は9047万円で、平成29年度当初比5・36%の減。

北村山視聴覚教育センターの研修機能、一般公開事業の充実を図る事とし、原案通り可決した。

市町名	負担金	負担割合
村山市	2,874万円	31.77%
東根市	3,404万7千円	37.63%
尾花沢市	1,739万7千円	19.23%
大石田町	1,028万9千円	11.37%
合計	9,047万3千円	100.00%



チェロの響きで星空観測

北村山広域行政事務組合議会

財政の硬直化をどう防ぐのか

市長…事務事業の見直しにより抑制したい

問 経常収支比率93・7%の数値は財政構造上高く、弾力性を欠き硬直化に繋がるが、予算執行にあたり、何を心がけるべきと考えているか。

答 予算ベースでは指摘の数値であるが、決算ベースでは4・5%の減となるため80%後半となり平成28年度決算の88・3%と同じ程度になることから全国平均92・5%、県平均89・3%と比べ、財政の弾力性を損なうものではない。事務事業の見直しにより、抑制したい。

決算期の財政調整基金額は
問 新年度予算に財政調整基金から4億円を繰り入れていたが、次年度以降の繰り入れに支障はないか。

答 財政調整基金の目安は、本市の標準財政



菅根 光雄 議員

規模約60億円の1/10である6億円、プラス豪雪災害への備えとして2億円、計8億円としている。本年度4億円を取り崩しても年度末残高は8億円を見込んでいます。今後も適正な規模の基金残高を確保して行きたい。

事業の遅れは説明が必要
問 2年前に新町中央広場の構想と補正予算を可決しているが、遅れの説明が無い。進捗状況はいかかか。

答 平成28年9月補正での関係者から事業同意の取り消し申し出があり、平成29年度も用地測量に入れない状況にある。理解を得られるよう丁寧に話し合いを進め、事業の推進を図りたい。

尾花沢中学校の用地取得はどこまで進んでいるのか。

市町名	負担金
尾花沢市	1億2,925万円
東根市	4億5,434万円
村山市	3億708万円
大石田町	6,937万円



リニューアルしたりハビリ棟

北村山公立病院組合議会

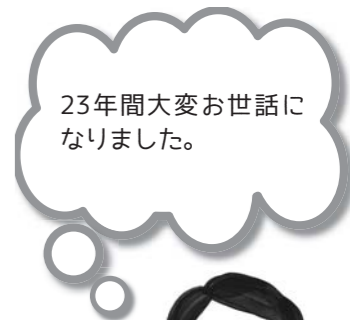
3月23日に定例会が開かれ、来年度予算、3市1町の負担金など5議案を可決した。医師不足による入院・外来年間患者数の減少により、事業収益54億5千140万円、同費用57億621万円を見込み、2億5千811万円の赤字予算となった。

でいるのか。また、銀山温泉の放水銃の設置はどうして遅れているのか。

答 体育館東側の用地取得については、2名の方が契約・登記完了の見込みであるが、残り1名の方と継続交渉している。放水銃については、現地説明会と計7回にわたる協議を重ねたが、1月以降の豪雪により、工事が遅れている。遅れても4月中の完成に努めたい。

空き家の活用対策
問 「まちなかカフェ」を地域主体の運営でお茶飲み場として設置し、運営費は市で負担する方策に取り組んでどうか。地域の元氣創造にも繋がり、日々の安否確認にもなるのではないか。

答 「まちなかカフェ」を地域主体の運営でお茶飲み場として設置し、運営費は市で負担する方策に取り組んでどうか。地域の元氣創造にも繋がり、日々の安否確認にもなるのではないか。



23年間大変お世話になりました。



議員のつぶやき…

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

3月26日、尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議場で3月定例会が開催され、平成30年度一般会計予算総額5億7千263万3千円、前年度比8.2%の減となった。公共下水道事業特別会計予算6億5千434万3千円、前年度比6.9%の増となった。尾花沢市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算7千937万5千円、前年度比7.9%の減となった。

4月1日から家庭系ごみ袋可燃・不燃・資源の3種類が1枚10円の値上げになった。

主な支出として
 ごみ処理基本計画策定業務委託料864万円、ごみ焼却溶融飛灰等埋立処分業務委託料97万円などが含まれる。監査委員に門脇誠一氏を選任し、9議案を原案の通り可決した。

市町名	負担金	
	一般会計	公共下水道事業特別会計
尾花沢市	3億2,814万円	1億7,635万円
大石田町	1億4,544万円	4,457万円

要望活動の効果

問 空き家の利活用に伴う改修費用、管理運営、雪対策、固定資産税の減免などの様々な課題があり、「空き家対策検討委員会」を立ち上げ研究している。県内の状況、全国の活用例を参考にしながら検討したい。

答 空き家の利活用に伴う改修費用、管理運営、雪対策、固定資産税の減免などの様々な課題があり、「空き家対策検討委員会」を立ち上げ研究している。県内の状況、全国の活用例を参考にしながら検討したい。

問 県選出の国会議員に市の重要事業や特別交付税などの要望活動を行っているが、その成果をどう評価しているのか。

答 市長就任から8年間の現状を必死に訴えてきた。特に特別交付税に関して、議員の皆様方の要望活動により、7年連続の豪雪対策の要望額相当の交付をいただいている。大変重要な活動と認識している。

荒楯橋の今！

通るのほのぼの
橋(上部工)は架かった！

平成29年度に下部工と上部工の2つの工事を発注し、現在は上部工事の橋本体は架かっている状況だが、通れるようになるのは6月頃を予定しています。



モニター
募集します！

私たちは、みなさまに親しまれる議会だよりを目指しています。これから発行される議会だよりを見ていただいて、率直な感想やご意見をお願いするモニターを募集します。

締め切り 5月末日
連絡先 議会事務局 ☎22-1111

市議会だより96号
モニターの声

表紙はとってもすてきですね。元気をいただきました。

表紙の林君、大きく写真に収まり、気持ちいいくらい水をかぶりましたね。

一般質問は、市民の声を吸い上げて市政に反映をさせるもので、議長を除く全議員の声を聞きたいです。

2〜3ページの写真は、説明との整合性があり、いいと思います。将来に希望の持てるような記事は本当にいいです。

家庭応援給付金230万円は、説明がないとわかりづらいので工夫してください。

議会
会
日
誌

(抜粋)

- 1月
 - 5日 市民新春祝賀会並びに市民賞授与式 ①
 - 9日 議会だより編集委員会
 - 10日 全員協議会・企業振興研修(市内企業視察) ②
 - 15日 議会だより編集委員会
 - 18日 新春林政講演会
 - 20日 徳良湖スノーランドオープニングセレモニー
 - 24日 総務文教委員会
 - 25日 1月臨時会・議員研修「第3回茶道講習会」 ③
 - 28日 尾花沢小学校校内スキー大会
- 2月
 - 5日 豪雪除雪隊(要援護世帯除雪作業) ④
 - 6日 会派政務調査
 - 7日 長野県(市政クラブ、鈴木清議員)
 - 9日 全員協議会・総務文教常任委員会
 - 14日 北村山広域行政事務組合議会議員研修会
 - 16日 産業厚生常任委員会
 - 22日 全員協議会
 - 23日 市議会雪灯籠つくり ⑤
 - 24日 第43回尾花沢雪まつり&徳良湖 WINTER JAM オープニングセレモニー
 - 26日 特別交付税要望活動及び会派政務調査 (〜27日東京) (おばねクラブ、小関議員) ⑥
 - 27日 特別交付税要望活動(東京) (翔政会) 特別交付税要望活動(東京) (市政クラブ、奥山議員、鈴木清議員) ⑦

- 3月
 - 2日 3月定例会開会(〜20日)、本会議
 - 5日 総務文教常任委員会
 - 6日 産業厚生常任委員会
 - 7日 一般質問
 - 8日 一般質問、予算特別委員会
 - 9日 予算特別委員会(総括質疑)
 - 12日 予算特別委員会(総括質疑・分科会)
 - 13日 予算特別委員会(分科会)
 - 14日 予算特別委員会(分科会)
 - 16日 市内中学校卒業式
 - 18日 市内小学校卒業式
 - 19日 予算特別委員会(分科会委員長報告)
 - 20日 本会議、産業厚生常任委員会
 - 22日 議会だより編集委員会
 - 23日 北村山公立病院組合議会(定例会)
 - 24日 第37回ひまわり保育園卒園式
 - 26日 第58回尾花沢幼稚園卒園式・公立保育園卒園式
 - 27日 環境衛生事業組合議会(定例会)
 - 29日 北村山広域行政事務組合議会(定例会)
 - 30日 会派政務活動(おばねクラブ)(福島県・新潟県)
- 4月
 - 2日 議会だより編集委員会
 - 3日 会派政務活動(翔政会) ⑧
 - 3日 会派政務活動(おばねクラブ)
 - 5日 公立保育園入園式
 - 6日 尾花沢幼稚園入園式・議会だより編集委員会
 - 7日 市内小学校入学式・市内中学校入学式
 - 10日 全員協議会
 - 15日 東北中央自動車道開通式(大石田村山一C) ⑨
 - 22日 春季消防大演習

